

特殊詐欺対策通信

特殊詐欺発生状況

令和6年4月の状況

4月中	件数	金額	1~4月	件数	金額
R6年	19	約4,120万円	R6年	53	約1億1,890万円
R5年	20	約3,900万円	R5年	52	約1億2,240万円
増減	-1	約+220万円	増減	+1	約-350万円

4月中の主な手口

息子を名乗るオレオレ詐欺を認知!

4月は、息子を名乗る者からの電話で「女性を妊娠させてしまい、慰謝料が必要になった。」と言われるオレオレ詐欺を複数認知しました。

1~4月の被害認知53件のうち、オレオレ詐欺は5件を認知し、還付金詐欺26件、架空料金請求詐欺17件に次ぐ認知となっています。

オレオレ詐欺の手口一例

自宅の固定電話に息子を名乗る者から電話があり、「携帯電話が壊れたので公衆電話から電話をしている。」「体調が悪い。」などと電話があり、雑談をして電話が切れる。

翌日、再度、息子を名乗る者から自宅の固定電話に電話があり、「携帯電話を変えたので新しい番号になった。携帯電話の番号がわからなくなったので教えて欲しい。」などと言われ、携帯電話番号を交換する。また、体調不良の病状については、「病院に行ったが精神的な体調不良だった。」などと言われる。

続けて、息子を名乗る者から「会社の女性を妊娠させてしまい、慰謝料〇〇万円を払わないといけない。」などと言われ、金銭を要求され、現金を用意する。

携帯電話に息子を名乗る者から電話があり、用意した現金を渡す場所を指定され、指定場所に行くと、息子から依頼された弁護士を名乗る者が現れ、現金の受け渡しを要求される。

携帯電話に息子から電話があり、弁護士に現金を渡すように催促され、弁護士を名乗る者に用意した現金を手渡す。

被害

トピックス

特殊詐欺被害の未然防止

4月中、落合郵便局では、「還付金がある。」旨の電話を受けた利用客が同局窓口で還付手続方法の説明を求めてきたことから、対応した局員が詐欺被害に遭っていると見抜き、警察に通報して被害を未然に防止しました。

また、ファミリーマート岡山片岡店、ローソン岡山邑久町店、セブンイレブン北房上水田店等では、電子マネーカードを購入しようとした来店客に店員が購入理由を聞いて詐欺と見抜き、警察に通報するなどして架空料金請求詐欺被害を未然に防止しました。

このほかにも、金融機関やコンビニエンスストアなどで合計36件の特殊詐欺被害を未然に防止することができました。

ココに「技あり」!

落合郵便局の方は、還付金詐欺の手口を把握していたからこそ、内容から来店客が被害に遭っていることを見抜くことができました。また、各コンビニエンスストアでは、各店舗責任者が電子マネーカード購入者に購入理由を確認する指導ができていたからこそ、架空料金請求詐欺被害を未然に防止することができたもので、いずれも水際対策の好事例です。